



学校経営理念：共に高まり合う熊三小 学校文化の創造

Kumasan

令和3年1月25日
学校だより 1月号
熊野第三小学校
校長 和田 愛
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

連休明けの1月12日(火)は校庭一面が真っ白い雪で覆われ、登校して来た児童が口々に「わあ〜すごい!」と大歓声。すぐに朝の仕度を済ませ、校庭では雪合戦をする子、雪だるまを作る子など、この時期ならではの遊びを楽しみました。1年で最も寒い時期。それは、春に向けエネルギーを蓄える季節でもあります。もうすぐやって来る春を楽しみに、新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、3学期も思いやりの気持ちを大切に令和2年度のまとめをしていきます。保護者の皆様、引き続きお力添えをよろしくお願いいたします。

☆ 牛の歩みも千里 (努力を怠らなければ、大きな成果を上げることができるというたとえ)

令和3年がスタートし2週間が経ちました。今年の干支は「辛(かのと)丑(うし)」、今年が丑年です。丑年は十二支の2番目で、子年(ねずみどし)に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑年には、先を急がず目の前を確実に進めることが、将来の成功につながっていくといわれています。

これまで努力を惜しまず頑張ってきたことが実を結ぶよう、これからも、牛の歩みのように一歩ずつ、着実に自分で自分を立派にしていく頑張り続けてほしいと思います。

☆ 乳幼児期からの育ちや学びをつなぐ

子供を基点に考えると、子供の発達や育ちに切れ目はありません。小学校に入学した子供たちは、保育所や幼稚園、家庭などで育まれた力を働かせて、新しいことへと向かっていきます。子供の育ちと学びは連続していて、小学校入学はゼロからのスタートではないといわれています。

新しい学習指導要領では、特に大きく環境が変わる幼から小、小から中、中から高は、より丁寧に育ちや学びをつないでいくことが求められています。小学校で、乳幼児期の育ちや学びを踏まえた指導の工夫をしていこうとすると、これまでの入学時期前後の連携だけでは不十分で、幼稚園や保育所での子供の育ちや学びの姿を知っておく必要があります。子供が学校に合わせて準備するのではなく、子供に合わせて準備できる学校でありたいと思います。



そこで、本校では今年度、小学校区にある保育所や認定こども園との連携に取り組み始めました。臨時休業中には1年生の担任が園所を訪問させていただき、年長の時の担任の先生に、入学してからの子供たちの様子をお伝えしたり、園所での様子を聞かせていただいたりしました。9月には、園所の先生方に学校にお越しいただき、1年生や2年生の授業を参観していただいた後で、子供たちの姿をもとに話し合いを行いました。

また、11月には園所の子供たちを学校に招待し、1年生の児童が学習発表参観日に行く発表を披露しました。これをきっかけに、園所の子供たちが1年生になることを楽しみにしていると伺い、とても嬉しく思いました。コロナ禍ではありますが、今後できることから少しずつ、育ちや学びをつなぐ取組を進めていきたいと思っています。

☆寒い日も熊三パワーで吹き飛ばせ！

1月は寒い日が続きました。南校舎と中校舎の間にある池は、朝になるとほぼ毎日氷が張っています。最初の頃は氷を珍しがって、触ったり、割ったりして楽しんでいた子供たちも、今では見向きもしません。校庭に雪が降り積もった日もありました。さすがにこの日は朝休憩から校庭にたくさんの子供たちが集まって、雪合戦や雪だるま作りが始まりました。子供たちの好奇心パワーは、寒さを上回ります。

今、体育では、持久走の練習が始まりました。子供たちの体調に配慮しながらの練習になります。子供たち一人一人が目標タイムなどのめあてを持って取り組むことで向上心の育成にもつなげたいと思います。持久走記録会は、低学年、中学年、高学年のまとまりで日時を分けて行います。期日は裏面の2月行事予定に記載しています。応援に来られる保護者の方は、新型コロナ対策へのご協力をよろしくお願いいたします。



☆体力テスト頑張っています。

熊野第三小学校では、新体力テストを年間2回行っています。一人一人の児童について、体力や運動能力の現状を調べ、その発達の状態や特徴から、各自の今後の運動生活の目標をつかませるために1回目（今年度は6月に実施）を行います。そして、1月に前回の体力テスト結果との変容を調べることで、これまでの運動生活を振り返り、今後の運動生活をより良いものにしていきます。



本校では、1回目と2回目の間にある子供たちの伸びに着目し、記録が向上した児童の記録を廊下に掲示するなどして子供たちの頑張りを認め、自信につなげています。

今年度も子供たち一人一人が、自分の記録アップを目指して頑張りました。記録が伸びた子も、思うように伸びなかった子もいましたが、自分の今の体力をしっかり受け止め、向上心をもってこれからの運動や遊びに活かして行ってほしいと思います。

☆朝のあいさつ、さわやかに。



あいさつ運動を続けています。運営委員会からの提案として子供たちが主体的に行っています。

毎週金曜日の7:50～8:00に担当学年の子供たちが正門に立ち、あいさつをします。しかし、このコロナ禍の状況です。三密を避けるために、各クラスを3グループに分け、自分のグループが担当する日にあいさつ運動に参加するなどの工夫や対策をしながら、子供たちの思いやりの心情を育むべく実施しています。やはり、あいさつはいいですね。する方もされる方も笑顔になります。特に朝のあいさつは元気が出ます。「よし頑張るぞ。」「今日はどうな一日になるかな。」様々な思いや願いをもって登校する子供たち。今日も頑張っています。

